

## —原著—

## 北関東甲信越地区在住の一般人 1,092 人におけるエイズ/HIV に関する意識調査

山田瑛子, 北村 厚, 永井孝宏, 児玉泰光, 高木律男

新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 (主任: 高木律男 教授)

## A survey of AIDS/HIV for 1,092 people living in Kitakantou and Koushinetsu district

Eiko Yamada, Atsushi Kitamura, Takahiro Nagai, Yasumitsu Kodama, Ritsuo Takagi

Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Chief: Prof. Ritsuo Takagi)

平成 29 年 4 月 7 日受付 平成 29 年 5 月 14 日受理

キーワード: エイズ, ヒト免疫不全ウイルス, 意識調査, 歯科受診

Key words: AIDS, HIV, survey, dental consultation

**Abstract**

The number of people living with HIV is gradually increasing and many of them desire the dental consultation same as ordinarily people without HIV. Therefore, we must prepare the medical system they can easily refer to dental office as soon as possible we can. In this report, we took a questionnaire on AIDS and/or HIV infection from 1,092 candidates living in Kitakantou and Koushinetsu district.

The male to female ratio was set to 1: 1, with age between 20 and 79 (mean  $48.7 \pm 15.4$ ) years. They consist of 152 candidates in each prefecture, and no significant differences of age distribution were found among the prefectures.

The young generation of the candidate had an experience of having a lecture about AIDS/HIV in their school days: thus, the validity of their knowledge regarding AIDS/HIV was found to be significantly much more abundant than that of other generations. Conversely, there are many candidates in each generation who don't know the HIV infection route or the disease natural course enough.

More than 50% of the people, especially over 6<sup>th</sup> decade, answered dental practices are one of HIV infection routes, but most candidates in 3<sup>rd</sup> decade or students were negative for this answer. It is not an important factor that is prepared to take a patient with HIV in or not for approximately 80% of candidates to select their dental office. Therefore, general imaging of AIDS/HIV and the behavior of the dental consultant may have a slight disparity.

AIDS/HIV-related misconceptions may lead to negative behavior toward HIV infected patients, and provision of the necessary education can lead to not only the right knowledge but also beneficial behavior modification.

**和文抄録**

エイズ/HIV 感染者は徐々に増加しているが、多くは健常者と同じように歯科治療を受けることを望んでいる。よって、エイズ/HIV 感染者が歯科医院を受診できる医療体制整備が求められている。そこで今回、北関東甲信越に住む 1,092 人を対象としたエイズ/HIV に関するアンケートを行った。

回答者の男女比は 1:1 に設定し、年齢は 20-79 歳 (平均  $48.7 \pm 15.4$  歳) であった。対象とした 7 県別ではそれぞれ 152 人ずつであり、各県ごとの男女比や年齢層の分布に有意差はみられなかった。

若年齢層ではエイズ/HIV に関する授業を受けた経験がある人が多く、知識においても有意に正答率が高かった。一方 HIV の感染経路や感染後の経過に関しては、いずれの年齢層においても正しく知らない人が多かった。

歯科治療を介して HIV 感染しようと考えている人は全体の半数以上にみられ、とくに 50 歳以上にその傾向が強かったが、20 歳代や学生では感染しないと考える人が多かった。また自身が受診する歯科医院を選ぶ基準として HIV 感染者の診察の有無は約 8 割の人が「わからない、意識しない」を選んでおり、一般的なエイズ/HIV に対するイメージと歯科受診という行動との間には若干の隔たりがあると思われた。

誤った知識はエイズ/HIV感染者への否定的な態度につながりかねないが、今後は知識だけでなく行動変容を生じうる教育が必要であると考えられる。

## 【緒 言】

抗HIV薬の新規開発が続き、HIV感染後も長期にわたりエイズ未発症の状態を維持することが可能となった近年、HIV感染症は慢性感染症として捉えられるようになった。また平成27年の厚生労働省のエイズ発生動向年報によれば、近年の新規HIV感染者およびエイズ患者報告数は横ばいであるものの、これまでの累積報告数ではエイズ/HIV感染者は2万5千人にのぼり今後も増加の一途をたどると思われる<sup>1)</sup>。この増加は歯科治療を必要とするエイズ/HIV感染者の増加を意味しており、受け入れる側の医療体制整備のためには、医療スタッフはもとより一般人の意識レベルを把握して、それに合った形の意識改革を組み込む必要がある。

そこで、今回北関東甲信越ブロック拠点病院として医療体制整備を行うための資料とすべく、一般人を対象としたエイズ/HIVに関するアンケートを行い、その認識や意識について検討した。

## 【対象および方法】

インターネットリサーチ会社である株式会社マクロミルの登録モニタのうち、性別、年代、居住地域が一定割

合になるように無作為抽出された北関東甲信越7県（茨城・群馬・埼玉・栃木・長野・新潟・山梨）に在住の20歳以上の男女1,092人を対象とし、無記名式アンケートを2016年2月に実施した。なお、回答者自身の情報として、性別・年齢・居住地域・未既婚・子供の有無・世帯/個人年収・職業（学生種別）・歯科治療の有無（時期）については事前に本人が登録した内容を用いた。また、エイズ/HIVに関する質問は一般的な知識や経験を問う質問に加えて、歯科や口腔に関連した9項目を設け、質問の総数は22であった。いずれの質問も複数の選択肢より選択させ、自由記述欄は設けなかった。また得られた結果は単純集計ならびにクロス集計を行い、各属性因子と回答について $\chi^2$ 検定にて統計学的検定を行った。

## 【結 果】

調査対象1,092人において属性の回答率は100%であったが、回答率は質問項目により90.1-100%であった。

### 1. 回答者の背景

回答者の基本属性について表1に示した。回答者は全員で1,092人、男女比は1:1に設定し、年齢は20-79歳（平均48.7 ± 15.4歳）であった。対象とした北関東甲信越7県別ではそれぞれを同数とし152人ずつであり、各県ごとの年齢層の分布に有意差はみられなかった。

表1：回答者の基本属性 (N=1,092)

	N	%		N	%
性別			職業		
男性	546	50.0	公務員	35	3.2
女性	546	50.0	経営者・役員	17	1.6
年齢			会社員（事務系）	114	10.4
20-29歳	134	12.3	会社員（技術系）	87	8.0
30-39歳	230	21.1	会社員（その他）	105	9.6
40-49歳	193	17.7	自営業	98	9.0
50-59歳	171	15.7	自由業	13	1.2
60歳以上	364	33.3	専業主婦（主夫）	232	21.1
居住地域			パート・アルバイト	138	12.6
茨城	156	14.3	学生	25	2.3
群馬	156	14.3	その他	44	4.0
埼玉	156	14.3	無職	184	16.8
栃木	156	14.3	学生種別		
長野	156	14.3	専門学校生	3	12.0
新潟	156	14.3	大学生	15	60.0
山梨	156	14.3	大学院生	6	24.0
未既婚			その他学生	1	4.0
未婚	328	30.0	歯科受診した時期		
既婚	764	70.0	半年以内	517	47.3
子供の有無			1年以内	242	22.2
子供なし	378	34.6	2年以内	220	20.1
子供あり	714	65.4	3年以内	113	10.3